



最上総合支庁長就任のごあいさつ

現在、私たちの前には新型コロナウイルスという脅威が立ち
はだかっています。県では、県民の皆様の安全を第一に考え、
感染拡大防止のために様々な対応を行っております。この難局
を乗り切るためには、地域の皆様のご協力が不可欠ですので、
ご理解とご協力をお願いいたします。

さて、今年度は昨年度末に策定された「第4次山形県総合発
展計画」のスタートの年です。計画では、最上地域の発展方向
として3つの柱を立てております。活力ある最上地域の実現に
向け、地域の皆様や8市町村の方々と連携しながら全力で取り
組んでまいります。

私は、最上総合支庁の勤務は初めてですが、この地域は、豊
かな自然、それを活かした農林業をはじめとする産業、長い歴
史を持つ文化、温かい人柄と、魅力的な資源に恵まれた地域で
あると認識しております。これらの長をを活かしながら、地域
の更なる発展のため、皆様と一緒に頑張ってまいります
ので、よろしくをお願いいたします。

※第4次山形県総合発展計画については、2ページに掲載しています。



最上総合支庁長
橋本 仁

ワーコム農業研究所が2つの賞を受賞！

真室川町のワーコム農業研究所が、「令和元年度東北ブロック未来につな
がる持続可能な農業推進コンクール」で東北農政局長賞、「第14回エコエ
リアやまがた推進コンクール」で最優秀賞（山形県知事賞）をそれぞれ受
賞しました。ワーコム農業研究所は、堆肥発酵促進剤「ワーコム」を独自
に開発し、農薬や化学肥料を抑える「ワーコム農法」により全国に先駆け
て環境にやさしい農業を実践してきました。「ワーコム農法」は真室川町か
ら全国へ広がっています。また、国内外の研修生を数多く受け入れ、環境
保全型農業の普及と人材育成に貢献している点も評価されました。

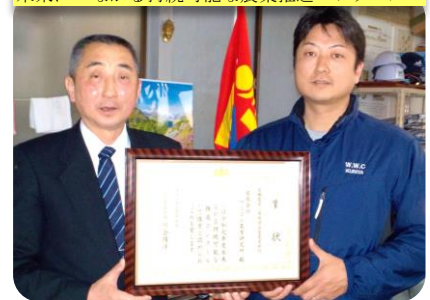
「東北ブロック未来につながる持続可能な農業推進コンクール」の表彰

式は3月17日にワーコム農業研究所で、「エコエリアやまがた推進コンク
ール」の表彰式は3月24日に山形県庁で行われ、栗田社長は、「私たちは農産物
の売り上げを目的としているわけではなく、研究や人材育成が目的」と話して
いました。

ワーコム農業研究所は、農業・科学合成肥料の多用により農業生産性の低下
が課題となっているモンゴルでの環境保全型農業を普及させるプロジェクト
や、「おいしさの見える化アプリ」を用いて農産物を画像解析し、味の診断を行
う取組みなど、国内外で精力的な挑戦を続けていられる予定です。県は、今後
も環境にやさしい農業の取組みを応援してまいります。

ワーコム農業研究所のおいしいワーコム米は、最上総合支庁内の食堂でも食
べることができます！ぜひ一度ご賞味ください。

未来につながる持続可能な農業推進コンクール



エコエリアやまがた推進コンクール



平成30年度大雨災害復旧状況

建設部 戸沢村蔵岡地区

洪水による浸水被害があった戸沢村蔵岡地区では、角間沢川の河川改修事業として、集落を堤防で取り囲む「輪中堤」の計画を進めております。

昨年度は設計内容に関する事業説明会を令和元年12月23日に開催し、一部排水路の設置工事を行いました。今年度は秋頃から堤体工事へ本格的に着手し、令和3年度末の完成を目指しております。



事業説明会の開催状況



排水路設置工事の状況

農村計画課 鮭川村佐渡地区

被災した農業用揚水機場は、3月末で機場の建物と電気機械設備の設置が完了しました。

また、送水管の敷設もほぼ完了し、4月中旬に通水試験を行い、水田への用水供給を再開する予定です。引き続き揚水機場裏山の崩落した法面の復旧工事を実施してまいります。



平成30年8月被災時



令和2年3月現在

森林整備課 戸沢村角川地区

戸沢村大字角川地内では、県道や集落に大量の土砂が流出し、県道が通行止めになるなどの被害が発生しました。このため、国の補助事業である災害関連緊急治山事業により、7つの溪流で治山ダムを施工し、令和2年2月27日までに7基すべてが完成し、溪流内に堆積した土砂の流出防止と溪流の安定を図りました。



完成した治山ダム（正面）



完成した治山ダム（上空）

「人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさと幸せを実現できる山形」の実現を目指して

県では、令和2年度から概ね10年間に、県民の皆さんと共に県づくりを進めていくための新たな指針として「第4次山形県総合発展計画」を3月23日に策定しました。

「人材」「イノベーション」「国内外の活力」を推進力にしながら、県づくりの推進方向を示す「5つの政策の柱」に基づく政策・施策を展開し、県民が本県で暮らす幸せを感じ、本県を訪れる人も幸せを感じられる「人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさと幸せを実現できる山形」の実現を目指していきます。

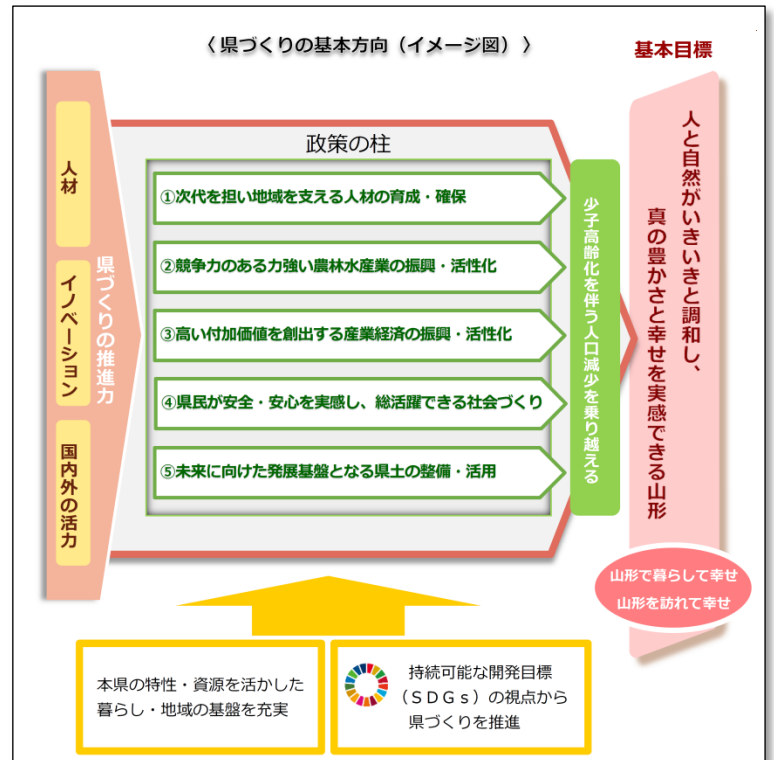
また、計画では、最上地域の「発展方向」を3つの柱に整理しています。最上総合支庁では、地域の方々とともに、地域発展に向けた施策・事業を展開していきます。

最上地域の発展方向

- 多様な世代がいきいきと暮らす、人に優しい地域社会の新しい仕組みづくり
- 「最上」の地域資源を活かし、新たな価値を生み出していく地域戦略の展開
- 最上8市町村の連携・協働による地域づくりと基盤形成

〈県づくりの基本方向（イメージ図）〉

基本目標



計画の詳細は山形県ホームページをご覧ください



やっぱりおいしい！最上のお米

水稻の品質・食味改善の意識向上を図り、主力品種「つや姫」「雪若丸」及び「はえぬき」をけん引役として、県産米全体の評価向上に資することを目的に開催された食味コンクールの「雪若丸」の部で、奥山和久さん（新庄市泉田）が最優秀賞の県知事賞を受賞しました。

奥山さんはとても熱心に、手間を惜しまず草刈りや水管理をしています。そんな奥山さんの米ならばおいしいに違いないと、食味コンクールへの「雪若丸」の出品を働きかけたところ、みごと最高賞を受賞されました。

奥山さんは、「この受賞を励みに、これからも情熱をかけてもっとおいしい米を作っていきたい」と語りました。

今回の受賞は、最上地域米生産者の高い技術力を示すことになりました。県では、今後も最上産米の更なる品質向上のため、取組みを進めてまいります。

[農業技術普及課 29-1330]



若者の憧れの存在に！

3月5日、最上総合支庁において、若手農業者のリーダーとして、トマト生産やジュース、セミドライトマトの加工などに取り組んでいる小野貴之さん（最上町）、きのこの若手生産者の中心的な存在として、高品質なきのこ生産に取り組んでいる木村勇智さん（最上町）のお二人が、今年度の最上地域農林水産業若者賞受賞者として、最上総合支庁長から表彰されました。

お二人には、今後のますますのご活躍が期待されます！おめでとうございます！

[地域産業経済課 29-1307]



自慢の最上のお米をPR

最上地域食味コンクールで一番おいしいと評価された「つや姫」「雪若丸」を、キューブ型の真空パックにしたプレゼントを用意しました。

大蔵村肘折の「地面出し競争」（2月23日）に参加した首都圏在住外国人ツアー客に、そして、銀座「ヤマガタ サンダンドロ」での最上伝統野菜を使った食事会（3月13・17日）の参加者に贈り、最上産米をPRしました。



土づくりと優れた技術で食味にこだわった水稻栽培を、これからも応援してまいります。

[農業技術普及課 29-1323]

美しい「つや姫」づくりコンテストで第1位に！

2月に「つや姫」栽培圃場の美しさや生産者の熱意をfacebookで紹介するコンテストが開催され、JAおいしいものがみ南部営農センター稲作生産者協議会（舟形町）が第1位を受賞しました。

若手生産者の長沼亮介さんと加藤陽介さんが「つや姫」生産への思いを熱く語っています。



動画はこちらから →



or Facebookで「つや姫」を検索



[農業技術普及課 29-1326]

おいしいさくらんぼを作るために

2月28日に新庄市鳥越のさくらんぼ園で講習会を開催し、生産者20名が樹勢を確認してバランスを整え、樹全体に光が当たるようにする技術を学びました。

樹勢が弱い時の対応等を具体的に確認し、また、暖冬・少雪での生育に合わせた管理に留意して、皆で美味しいさくらんぼを生産する決意を新たにしました。



[農業技術普及課 29-1328]

あらたな視点をゲームで体感!

3月2日、ゆめりあの会議室にて、最上地域政策研究所研修会「行政にも活かせるSDGsの視点を学ぶ」を開催しました。最上地域政策研究所は、最上地域における諸課題について調査研究し、各市町村の政策推進に資するとともに、職員の政策形成能力の向上を図るため、最上管内8市町村、最上広域市町村圏事務組合及び最上総合支庁が、平成24年7月4日に共同で設置したものです。

2030SDGs ゲーム公認ファシリテーター 佐藤恒平氏を講師に、研究員のほか市町村職員など約40名が参加しました。今後の施策展開に必要な視点としてSDGsの重要性を学んだあと、2030SDGs ゲームにて、目標達成には協働することが必要であることを体験しました。

[連携支援室 29-1236]

■SDGs (エス・ディー・ジーズ) とは…
「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。2015年9月の国連サミットで採択された、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標。

■2030SDGs ゲームとは…
SDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを体験するゲーム。SDGsの目標を細かく勉強するためのものではなく、「なぜSDGsが私たちの世界に必要なのか」、そして「それがあることによってどんな変化や可能性があるのか」を体験的に理解するもの。



お知らせ

～有毒植物による食中毒に気をつけましょう～

- ★山野草は、知っているものだけを食べましょう。
- ★庭や菜園では、野菜類と園芸植物は**明確に区別・識別**しましょう。
- ★食用となる山野草と有毒植物が混じって生えていることがありますので、**慎重に採取**しましょう。
- ★少しでも**自信のないもの、怪しいものは、絶対に採取しない**ようにしましょう。
- ★安易に**譲り渡したり、譲り受けたりしない**ようにしましょう。

山野草を食べて、しびれ、むかつき、吐き気などの中毒症状を起こしたら、残品を持って早急に医療機関を受診しましょう。

ニラ

・強烈なにおい



スイセン 毒

・無臭
・丸い球根がある



[生活衛生室 29-1260]

え!?まだ打っていないの!! 狂犬病予防注射 ～4・5・6月は狂犬病予防注射月間です～

- ★狂犬病は、犬だけでなく人にも感染し、発症すると人も犬もほぼ100%死亡するおそろしい病気です。
- ★狂犬病の予防注射は、法律で定められた**飼い主の義務**です。
- ★必ず毎年1回、4月1日から6月30日の間に受けさせましょう。
- ★また、**飼い犬が人を咬んだ場合、保健所への届出と狂犬病の検診を行う必要**があります。必ず連絡しましょう。



[生活衛生室 29-1261]

新型コロナウイルスに注意! ～感染症予防に努めましょう～

- こまめな手洗い、手指消毒、咳エチケットを徹底しましょう
- 感染拡大防止のため、当面の間、県外との不要不急の往来はお控えください
- 3つの密「換気の悪い**密閉空間**」「多くの人の**密集**」「**密接**した近距離での会話」の条件が重なる場所を避けてください

- ・風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日（高齢者や基礎疾患のある方は2日）以上続いている
- ・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある
- ・感染者との濃厚接触がある

…など、感染が疑われる方は下記「**新型コロナ受診相談センター**」へ電話してください。

☎ 0120-88-0006 (フリーダイヤル)
【毎日24時間対応・土日祝含む】

・その他の新型コロナウイルス感染症に係る相談は下記「**新型コロナ相談窓口**」（保健所）へ電話してください。

○最上地域にお住まいの方
☎ 0233-29-1268 (平日の日中)

○それ以外の方
県 HP「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。



[地域保健福祉課 29-1268]

※最新の情報は県 HP「新型コロナウイルス感染症に関連するポータルサイト」をご覧ください。

発行日：令和2年4月10日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605

mogami ecopolis P.4



Twitter



HP



モガミル
最上エコポリス
イメージキャラクター